

ユニット 9

自然災害：歴史から学ぶこと

このユニットで考えること (Essential Questions)

自然災害は世界のどこでも起こり、同じような災害が繰り返されることが多い。災害が起こった時に、そして、それが繰り返される時に、人は何を学ぶのだろうか。そのような苦い経験を繰り返さないために、どのような自覚をもち、何をしなければならないのだろうか。

Natural disasters occur anywhere in the world, and people repeat the same mistakes on natural disaster prevention. What can we learn when a disaster occurs and the same mistakes are made over and over again? What can we do to raise disaster awareness so as not to make these same mistakes again?

Goals and Objectives

Goals

Content Goals:

- By examining historical records and reading materials regarding previous natural disasters in the Tohoku area (as well as those from the March 11, 2011 earthquake and tsunami), students will learn how the same mistakes from the past have been repeated in present times for preparations against natural disasters.
- By analyzing these repeated mistakes students will critically discuss how people can or cannot learn from history, and how we can prevent future generations from making the same mistakes.

Language Goals:

- Students will read historical records and texts regarding Tohoku area natural disasters (as well as those from the March 11, 2011 earthquake and tsunami), and explain how earthquakes and tsunamis occurred repeatedly throughout history in the Tohoku area.
- Taking the Tohoku natural disaster as an example, students will discuss how people have made efforts to pass their experiences along to future generations.
- Then, students will give oral and written presentations about their research on what they can do to not repeat the same mistakes.

Objectives and Assessments

Objectives	Summative Assessment
Content Objectives Upon completion of this unit, students will be able to do the following:	
State the characteristics of natural disasters repeatedly occurring in the Tohoku area.	Oral report
Construct their own perspectives on why people repeat the same mistakes.	Discussion Oral & Written Presentation
Explain what reconstruction efforts have been made to convey facts to future generations.	Oral Presentation
Analyze the aforementioned efforts and compare and contrast these efforts to similar efforts in the student's own country.	Essay
Propose their own ideas for reconstruction of the Tohoku area for the sake of future generations living in that area.	Discussion Oral Presentation

Language Objectives – Students will be able to do the following:	Summative Assessment
(Interpretive)	
Obtain necessary information and key ideas from authentic sources regarding historical information about Tohoku area natural disasters.	Oral report Quiz
Obtain necessary information and key ideas from authentic sources regarding why the same mistakes have been repeated.	Write a summary
Obtain necessary information and key ideas from authentic sources regarding what reconstruction efforts have been made.	Write a summary
(Interpersonal)	
Share findings on the historical background of Tohoku area natural disasters.	Group Discussion
Discuss why people repeat the same mistakes.	Group Discussion
Discuss what reconstruction efforts have been made and share their opinions on what can be done to prevent people from making the same mistakes.	Group Discussion
(Presentational)	
Present one reconstruction effort they identified and talk about what efforts are being made to not repeat the same mistakes.	Oral Presentation Essey
As a final project, create a presentation or write an article about ideas on how to contribute to the effort and not to repeat the same mistakes.	Oral Presentation Creating Web/Blog

先生方へ

ユニット9の構成について：このユニットは、はじめに、パートI、パートII、最後にの4部から構成されています。時間がなく全部ができない方は、はじめにとパートIをお使いください。

パートI 津波と人間

I. 読む前に

1.2.3. これらの石碑の碑文の目的は何だったと思いますか。正しいと思う答えをすべて選んでください。

期待する答え：a, c, e

災害記念碑一般は、時に慰霊碑を兼ね、犠牲者の霊を慰める文言が刻まれていることもあります。ここでは、このユニット内の石碑に刻まれている警告メッセージに限りませので、慰霊のメッセージの写真はないので、bは答えとなりません。

1.2.4. これらの石碑はどんな所に建てられたと思いますか。みなさんがこのような石碑を建てるとしたら、どんな所に建てたいですか。その理由も話し合ってください。期待する答え：

- 津波の被害が一番ひどかった所
- 津波が到達した所

「津波で最も多くの人亡くなった所」という答えも上がるかもしれませんが、この質問もこのユニットで使われている写真に限りませので、ここでは、答えとなりません。また、被害が一番ひどかった所でも、石碑を設置する場所は「人目に着く所」という考えを引き出すように誘導してください。

II. 読んでみよう

7.2. 石碑を建てて長期的に警告を残すためには、どのような^{かんり}管理が必要でしょうか。また、石碑の代わりにどのようなことができるでしょうか。

ここでは、まず、もし石器が長期的な警告を残すものとして適切でない点があるとしたら、それは何だったか、適切でない場合の原因、そして、その代わりにどのようなことができるか考察させ、石碑の管理のしかたに問題がなかったかという方向に誘導して下さい。

パートII 震災の記憶を後世の人たちに残したい

I. 読む前に

5.2. 吉田さんは吉田さんは、どうしてこのプロジェクトを始めようと思いましたか。正しいと思うもの全てに○をつけてください。

期待する答え：a, c, d

このセクションの前にある5.の設問から、答えはbではないことが分かります。

II. 読んでみよう

3.5. 段落2の次の文について、吉田さんの気持ちを言い換えてください。

もし石碑に刻まれた言葉を知っていれば、あの日もっと多くの人を助けられたと思います。



期待する答え：

石碑に刻まれた言葉をしらなかつたので、あの日、多くの人を助けられなかつた。

4.5.2. このプロジェクトでは何をすることによって記憶の風化を防ごうとしていますか。方法を2つ書いてください。

期待する答え：

- a. 木碑を4年に一度新しく取り換えるという行為を地域の文化にすること。
- b. 木碑に刻むメッセージを地域の人達が集まって一緒に考えるということ。

4.5.3. 「木碑を交換するという行為自体を地域の文化にする」というのはどういう意味でしょうか。

期待する答え：

定期的に木碑を交換する文化を作り、その度に、震災のことを思い出すこと。

4.5.4. 木碑に刻むメッセージは誰が考えることになっていますか。その利点は何ですか。

期待する答え：

地域の人が集まってメッセージを考えることになっている。定期的に震災のことを思い出すので、将来大地震が起こっても被害を防ぐことができる。

6.1.2. 下の例文を読んだ後で、それぞれの言葉を使って文を作ってください。読み物の中からこの言葉を使った文を探してもいいです。

読み物の本文中に「買い換える」とあるので、「建て換える」「買い換える」の練習をしています。一般的には「買い替える」という漢字も使用されています。

III. 読んだ後で

1. 吉田さんは、木碑プロジェクトの活動について Facebook でも報告しています。

<https://www.facebook.com/pages/311復興木碑設置プロジェクト/438516459561125>

2013年3月14日、6月19日、8月29日、2014年3月11日の書き込みを読んで、下のタイムラインの質問に答えてください。そして、2014年3月11日にある完成した木碑の写真を見た後でグループで Facebook に励ましの書き込みをしましょう。

Facebook に書き込む時は、文法や語彙、そして内容について、必ずクラスメイトと先生にフィードバックを貰ってから書き込んで下さい。ソーシャルネットワークに書き込む時には、読み手を意識して責任ある書き込みをするようにクラスで話し合ってください。